

畜産の作業事故防げ

ホクレン営農支援センターは13日から、家畜による農作業事故をなくすため、「2021年度家畜の労働安全Web研修会」を動画投稿サイト「YouTube」のホクレンアグリポートチャンネルで限定配信している。家畜をテーマにした労働安全研修は初めて。

北海道農作業安全運動推進本部がまとめた20年度農作業事故報告書によると、過去10年間の負傷事故は家畜による事故が農業機械の事故を上回っている。牛との接触事故が多い。

ウェブ研修会は①「乳牛

ホクレン
営農
支援
センター

との接触による事故の実態と対策の考え方」(農研機構農業機械研究部門、40分)②「畜産業の労働安全～知識と仕組みとアイデアで事故を防ごう～」(網走農業改良普及センター、40分)③「家畜労働安全の最前線を巡って」(㈱トップファームグループ、10分)——の3本柱。①では乳牛との接触事故の多くは事前の対策で防げることを説明②では家畜による農作業事故の現状や改善事例を紹介

③では日ごろから作業安全に努める雰囲気づくりなどのインタビューを取り上げた。

受講対象者は、生産者や酪農ヘルパー、JA職員。受講希望者は受講申し込み用URLなどに入力し、30日までに申し込む。ホクレンは「幅広い方に見てほしい」と参加を呼びかけている。

問い合わせはホクレン営農支援センター営農支援推進課、(電)011(788)5467。

ウェブで初の研修会配信